

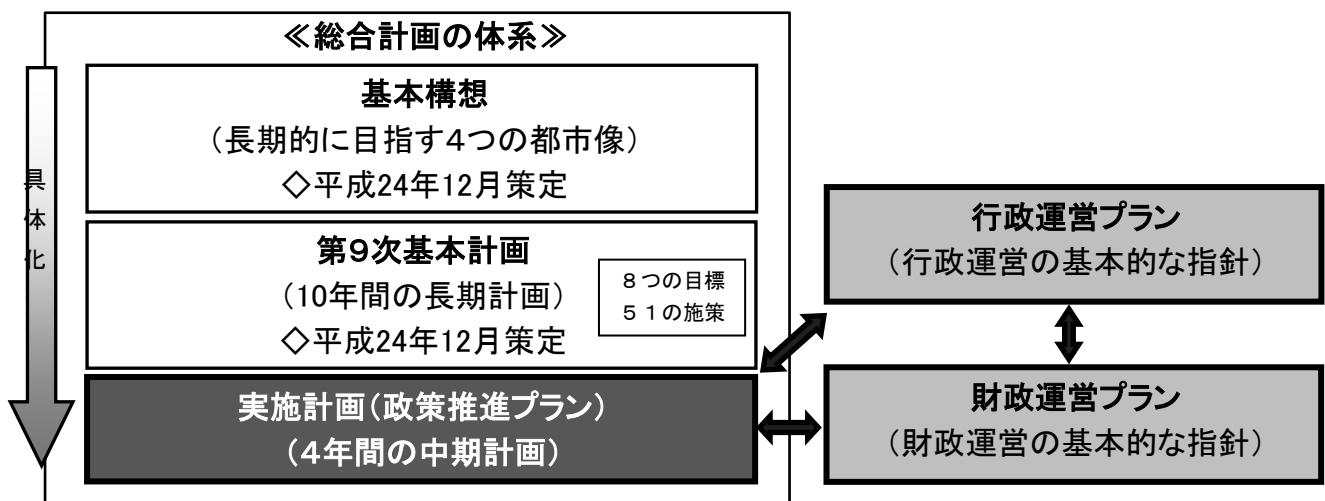
政策推進プラン（原案）の概要

政策推進プランとは

■ プラン策定の趣旨

政策推進プランは、第9次福岡市基本計画の第2次実施計画として、平成 29(2017)年度から平成 32(2020)年度までの4年間に取り組む具体的な事業を示すものです。

行政運営プラン及び財政運営プランと一体的に推進することにより、必要な財源を確保し、選択と集中による重点化を図りながら、生活の質の向上と都市の成長のために必要な施策事業の推進を図ります。



■ プランに掲載する事業（事業区分の設定）

政策的な優先度に基づき事業区分を設定します。重点事業に充てる財源を優先的に確保するなど、事業区分を踏まえた資源配分を行いながら、効果的・効率的に事業を推進します。プランには、重点事業、主要事業、区事業を掲載します。

区分	説明		プランへの掲載
全市共通	重点事業	基本計画の目標を達成するために大きな効果・影響があり、政策的な優先度が高い事業で、優先的に資源配分を行い、重点的に取り組むもの	事業名と概要
	主要事業	基本計画の目標達成のために取り組む主要な事業	事業名
	一般事業	上記以外の事業	—
区独自	区事業	区の地域特性や独自の課題等に応じて、区ごとに取り組む主な事業	事業名と概要

■ 重点分野の設定、重点事業の選定

基本計画のまちづくりの目標、第1次実施計画の振り返り、福岡市の現状・課題等を踏まえ、今後4年間に優先的に取り組む施策分野を重点分野として定めます。

重点事業については、この重点分野に基づき、また、施策体系ごとの進捗や課題等を踏まえて選定します。

第1次実施計画の振り返り

福岡市では、第1次実施計画に基づき施策事業を推進し、人口が増加するとともに、多くの観光客やMICE参加者が訪れ、企業の立地が進み、市税収入が過去最高を更新しています。

一方で、空港・港湾やコンベンション施設、都心部のビルなど都市としての供給力に不足が生じており、また、超高齢社会に対応した持続可能な仕組みづくりに取り組むことが必要です。

「生活の質の向上と都市の成長の好循環」をさらに確かなものとしていくためには、都市の成長に対応した機能・供給力の向上を図り、そこから生まれた成長の果実をさらなる生活の質の向上に振り向けていく必要があります。

重点分野と事業構築の視点

■重点分野（重点化の考え方）

基本計画に掲げる都市経営の基本戦略である「生活の質の向上と都市の成長の好循環」をさらに確かなものとしていくため、第1次実施計画の振り返り、福岡市の現状・課題等を踏まえ、今後4年間に優先的に取り組む4つの施策分野を「重点分野」として設定します。

①見守り、支え合う、共創の地域づくり

- ・住みなれた地域で誰もが安心して暮らしていく、見守り、支え合う持続可能な仕組みづくり、さまざまな主体が共に地域の未来を創り出す取組みを推進します。
- ・社会全体で健康寿命の延伸を推進し、生涯現役社会の実現をめざします。

②次代を担う子ども、グローバル人材の育成

- ・安心して子どもを生み育てることができ、女性が活躍できる環境づくりを進めます。
- ・心豊かでたくましい、国際性豊かな子どもの育成とともに、世界で活躍できる多様な人材の育成・定着を図ります。

③福岡の成長を牽引する観光・MICE、都心部機能強化の推進

- ・増大したクルーズ客船の寄港やコンベンション需要などに対応する受入環境の充実を図るとともに、戦略的な観光・集客、MICE誘致をさらに推進します。
- ・規制緩和により民間活力を引き出しながら、都心部の機能・魅力の向上を図り、国際競争力のある都市づくりを進めます。

④人と企業を呼び込むスタートアップ都市づくり

- ・チャレンジする地場中小企業を支援するとともに、先進的なテクノロジーの活用などにより、新たな産業の振興と雇用の創出を図ります。
- ・国際貢献を通じたビジネス展開を加速するとともに、国家戦略特区による規制改革等に市の施策を組み合わせ、実験的・モデル的事業を支援するなど、挑戦する人や企業を呼び込み、集積を図る「スタートアップ都市」づくりを進めます。

■事業構築の視点

今後4年間の施策事業を構築し、推進していく上での基本的な姿勢・考え方として、以下の3つの視点を掲げます。

視点1：挑む

～変化等に柔軟に対応し、新たな発想と手法で挑戦し、スピード感をもって実践します

視点2：繋げる

～市民・地域・NPO・企業など、多様な主体の力を引き出し、連携・共働を進めます

視点3：活かす

～社会資本や自然・歴史・文化など、福岡の資源や魅力を磨き、最大限に活用します

主な重点事業

重点事業は、基本計画の目標を達成するため、政策的な優先度が高い事業で、優先的に資源配分を行い、重点的に取り組むものです。

*プラン原案には、約160の重点事業を掲載していますが、この資料には、新規・拡充事業を中心で掲載しています。

プラン原案に掲載している重点事業の4年間の事業費（一般会計）は、約5,200億円と見込んでいます。

*本事業費は、現時点での見込額であり、年度ごとの予算編成で精査し、確定していくものです。

今後の事業の実施にあたっては、事業手法の工夫・見直し等による事業費の縮減に努めるなど、効果的・効率的に事業を推進していきます。

★:新規

施策	事業名	事業概要	局	頁
目標1：一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
ユニバーサル 社会づくり	ユニバーサル都市・福岡の推進	多様な媒体を活用したユニバーサルデザインのさらなる普及啓発。市民や事業者等が参加するイベントの実施等	総企	P.17
	★ベンチプロジェクト	誰もが安心して外出できる環境をつくるため、市内全域でベンチの設置を推進	保福 道下	P.17
	バリアフリーのまちづくりの推進(道路、バス、鉄道駅)	ハード・ソフト一体の取組みによるバリアフリー化の推進。歩道の段差解消や勾配の改善、鉄道駅におけるエレベーターの設置やノンステップバスの導入、市民向け講座の開催等	保福 道下 住都 交通	P.17
人権	★障がいを理由とする差別解消に向けた取組み	障がいを理由とする差別を解消するための条例制定に向けた取組み、市民等への広報・啓発	保福	P.19
生涯現役社会づくり	高齢者の活躍支援	知恵と経験を活かした高齢者の活躍を支援。必要な情報や人に会える「アラカンフェスタ」の開催、企画から実施までを自ら行う「R60俱楽部」の実施等	保福	P.21
	地域との協働による移動支援	日常の買い物や通院等が困難な高齢者等への支援を希望する地域団体等に対する車両の貸出	保福	P.21
	健康・社会参加インセンティブ制度検討	健康づくりや地域活動への参加促進に向け、高齢者一人ひとりの取組みや地域における取組みを応援する制度を創設	保福	P.21

施策	事業名	事業概要	局	頁
生涯現役社会づくり	よかトレ実践ステーションの創出・継続支援	高齢者が自ら介護予防に取り組む拠点「よかトレ実践ステーション」の創出や継続に対する支援	保福	P.21
	健康先進都市づくり	医療や介護、予防等に係るデータを集約・活用する地域包括ケア情報プラットフォームの運用、健康づくりに関する産学官民による共働・共創の場となる「福岡ヘルス・ラボ」の構築等	保福	P.21
文化芸術	★東京五輪を契機とした文化振興の推進	東京五輪の開催を契機として、市民や各種団体と連携した文化イベントの開催等により、福岡の魅力を国内外に発信する福岡市文化プログラムを検討・実施	経済	P.22
	拠点文化施設整備(市民会館の再整備)	建替え期を迎えた福岡市民会館を継承し、文化芸術振興の新たな拠点となる施設を須崎公園と一体的に整備 H35n 開館予定	経済	P.22
スポーツ	福岡マラソン開催	市民スポーツの振興及び地域の活性化を図るため、市民参加型フルマラソン大会「福岡マラソン」を開催	市民	P.23
	総合体育館整備	市民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができ、大規模スポーツ大会も開催できる総合体育館をアイランドシティに整備。H30n 開館予定	市民	P.23
福祉	地域包括ケアの推進	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるよう、保健(予防)、医療、介護等のサービスが一体的に提供される地域包括ケアを推進。地域ケア会議の開催等	保福	P.24
	介護基盤の充実	要介護高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等を整備	保福	P.24
	★障がい者の「親なき後」の支援	障がい者の高齢化や「親なき後」も見据えた地域生活支援機能の強化。緊急時の受け入れ・対応、グループホームの設置等	保福	P.25
子ども・教育	保育所等整備の推進	増加する保育需要に対応するため、保育所の新設や増改築、小規模保育事業等の認可など多様な手法による整備推進	こども	P.26
	保育士の人材確保	保育士確保に向けた就職あっせんや研修会、保育料や就職準備金の貸付、現役保育士を対象とした相談対応等を実施	こども	P.26
	多様な保育サービスの充実	一時預かり、障がい児保育、病児・病後児デイケアなど多様な保育サービスの充実	こども	P.26
	★妊娠期から子育て期までの相談・支援体制の充実	子育て世代包括支援センターを各区保健福祉センターに設置。母子保健相談員による母子保健施策等の情報提供や出産前後の相談、子育て支援コンシェルジュによる情報提供・助言等	こども	P.27
	アントレプレナーシップ教育の推進	自分の将来に夢や希望を持ち、新しいことにチャレンジしていく意欲を育てるため、全小学校で意思決定シミュレーション学習「CAPS」、中学校で社会人講話を実施	教育	P.28
	国際教育の推進	小学校5・6年にゲストティーチャーを配置。中・高・特別支援学校にネイティブスピーカーを配置。国際交流・英語体験活動	教育	P.28
	いじめ・不登校等対策の充実	いじめ防止の啓発、問題を抱える児童生徒や保護者等への支援。いじめゼロプロジェクト、不登校対応教員配置、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルコーディネーター配置等	教育	P.29

施策	事業名	事業概要	局	頁
目標2：さまざまな支え合いとつながりができる				
コミュニティ づくり	共創の取組みの推進	自治協議会と市がパートナーとして、様々な主体と地域の未来を共に創り出す「共創」の地域づくりを推進。自治協議会の活動を支援するとともに、地域と企業、NPO、大学等をつなぎ、新たな取組みを創出	市民	P.33
	魅力・絆・担い手づくりの推進	住民相互の顔の見える関係づくりや企業等の地域活動への参加促進などを推進。住民が気軽に楽しく参加できる取組みへの支援、地域活動を応援する企業等の登録・公表、セミナーの開催	市民	P.33
活動の場	公民館の機能強化	公民館の150坪化の推進、公民館による地域活動の担い手の育成	市民	P.34
	地域交流センター整備(早良区)	早良区中南部地域において、区レベルの行政サービスを補完する地域交流センターを整備 早良区四箇田団地内にH33n開館予定	市民	P.34
支え合い	地域での支え合い活動支援	校区社会福祉協議会が中心となって実施している「ふれあいネットワーク」や「ふれあいサロン」等の活動を支援	保福	P.35
目標3：安全・安心で良好な生活環境が確保されている				
防災	★熊本地震を踏まえた防災・危機管理体制の充実強化	熊本地震の教訓を防災・減災対策に活かしていくため、地域防災計画を見直し、防災・危機管理体制を充実・強化。災害対策本部体制や物資輸送体制の強化、受援計画・支援計画の策定等	市民	P.41
	地域防災力の向上	地域における災害対応能力の向上に向けた取組みの推進。自主防災活動への支援や要支援者への避難支援対策、マーシャン等の防災マニュアル作成支援、避難所運営のエキスパート「避難所サポートチーム・福岡」の養成等	市民	P.42
消防	消防施設の整備・充実	中央消防署を中央区那の津に移転整備するとともに、中央区内の出張所の再編整備を実施	消防	P.42
安全快適	身近な生活道路の改善(交通安全施設整備)	歩行者や自転車など、誰もが安心して利用できる道路環境を整備。通学路を中心とした歩道設置、路側カラー化等	道下	P.43
	西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(緑飼隈駅付近)	踏切による交通渋滞や事故の解消、地域の一体化を図るために、連続立体交差事業を推進。H32n高架切替	道下	P.43
	浸水対策の推進	重点的に雨水対策を行う「雨水整備Doプラン」、天神地区の雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」を推進	道下	P.43
子育て	放置自転車対策	駐輪場の整備、モラル・マナーの啓発、放置自転車の撤去など自転車対策を実施	道下	P.45
防犯	地域防犯力強化事業	地域の防犯力の強化を図るため、地域防犯パトロールカー支援事業等を実施	市民	P.46
	街頭防犯カメラ設置補助事業	犯罪が発生しにくい環境づくりのため、街頭防犯カメラの設置を支援・促進	市民	P.46
水	水資源の確保(五ヶ山ダムの建設促進)	将来にわたり水道水を安定的に供給できるよう、那珂川の上流に、渴水対策容量などを持つ五ヶ山ダムの建設を促進。H29n完成予定	水道	P.47

施策	事業名	事業概要	局	頁
目標4：人と環境にやさしい、持続可能な都市が構築されている				
省エネ	★事業者の省エネ対策	一定規模以上のエネルギーを使用するオフィス・店舗などの事業者に対して、省エネ計画書の提出を求める制度を創設・運用	環境	P.52
自然環境	アイランドシティはばたき公園整備の推進	博多湾東部の多様な生態系が生息する環境を活かし、アイランドシティにおいて豊かな自然を実感できる公園の整備を推進。H31n 以降 施設整備着手	港湾	P.54
コンパクトな都市づくり	九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり	新たな都市機能の導入や早期の土地利用転換、最先端の技術革新による快適で質の高いライフスタイルと都市空間の創出に向けた「FUKUOKA Smart EAST」の取組みを推進	住都	P.55
	青果市場・簀子小学校・冷泉小学校跡地活用の検討	公共利用を考慮しつつ、市民ニーズや地域の特性等を踏まえ、にぎわいの創出や魅力の向上などまちづくりの視点も取り入れながら、跡地の活用を総合的に検討	住都	P.55
	市街化調整区域の活性化	地域主体の取組みを支援とともに、土地利用規制の緩和を契機に、農林水産業や観光業など地域産業の振興に繋がるビジネスの創出に向けた取組みを推進	総務	P.55
公共交通	地下鉄七隈線延伸事業の推進	安全を最優先に早期開業を目指し事業を推進 ・延伸区間:天神南～博多 ・建設キロ:約 1.4km(営業キロ:約 1.6km)	交通	P.56
	都心拠点間の交通ネットワーク強化の検討	都心部における道路交通混雑の緩和や都心拠点間の交通ネットワークの強化を図る交通対策のひとつとして、都心循環BRTの形成に向けた検討などを実施	住都	P.56
	生活交通の支援	バス路線の休廃止に伴い公共交通空白地となる地域における代替交通運行に対する助成。公共交通が不便な地域における地域主体の取組みへの支援	住都	P.56
ストック活用	★コミュニティパーク事業の推進	地域にとって使いやすい魅力的な公園づくりと地域コミュニティの活性化のため、地域による公園の利用ルールづくりと自律的な管理運営を促進	住都	P.57
目標5：磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
観光資源	★歴史文化を活かした観光振興(鴻臚館・福岡城、元寇防塁、志賀島等)	鴻臚館・福岡城、元寇防塁、志賀島等の歴史資源や文化資源を磨き上げ、観光エリアとしての魅力向上と集客促進、地域経済の活性化を推進。観光ガイドの多言語化対応、情報発信等	経済	P.60
	鴻臚館・福岡城の整備	国史跡である鴻臚館・福岡城の整備・活用 ・鴻臚館: 展示館等の整備、ユニークベニューとしての活用 ・福岡城: 歴史的建造物の復元、さくらまつり等と連携した活用	経済	P.60
にぎわい	セントラルパーク構想の推進	「セントラルパーク基本計画」を策定し、市民の憩いと集客の拠点として、大濠公園・舞鶴公園の一体的な活用を推進	住都 経済	P.61
おもてなし	★観光産業の振興と受入環境の充実	IoTを活用した観光客の回遊性・利便性の向上や、観光拠点の多言語対応、宿泊施設等の供給力強化	経済	P.62
	快適で高質な都心回遊空間の創出	水辺や歴史等の既存資源を活かした都心回遊空間の充実・強化。西中洲地区の魅力づくりに向けた石畳等による道路整備と景観誘導、春吉橋賑わい空間の創出、博多駅周辺上空デッキの整備等	住都 道下	P.62

施策	事業名	事業概要	局	頁
MICE	国内を代表するMICE拠点の形成	国際競争力のあるMICE拠点を形成するため、ウォーターフロント地区における第2期展示場等の整備やホテル・賑わい施設等の誘致を推進	経済	P.63
	MICE誘致推進事業	戦略的なMICE誘致の展開、開催支援。ビジネスコーディネート、ユニークベニューの開催支援等	経済	P.63
国際スポーツ	国際スポーツ大会等の誘致・開催	大規模スポーツ大会の開催や合宿の招致、開催支援。日本陸上競技選手権大会(H31n)、ラグビーワールドカップ 2019(H31n)、世界水泳選手権福岡大会(H33n)	市民	P.64
クルーズ	クルーズ客船誘致活動の推進・受入体制の充実強化	クルーズ客船の誘致、観光バスの受入環境の改善など受入体制の充実・強化	経済 港湾	P.65
目標6：経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている				
知識創造型産業	★地方発イノベーション創出環境の構築	産学連携によるイノベーションが創出されやすい環境を構築するため、理化学研究所と九州大学をはじめとする大学等研究機関、企業のネットワーク形成等	経済	P.68
	★IoT新サービス創出支援事業	IoT分野での新たなイノベーション創出に向けて、実証実験を促進するためのIoT向け通信ネットワークを市内広域で構築	経済	P.68
立地促進	重点分野の企業誘致推進事業	外資系企業や成長性が高い分野の企業誘致を推進。国内外での誘致活動、クリエイティブ人材の市内企業への就職・移住支援等	経済	P.69
中小企業	中小企業・スタートアップ企業マッチング事業	既存企業と新しいアイデアを持つスタートアップ企業とのマッチングイベントを開催	経済	P.70
	★商店街インバウンド対策支援事業	商店街が取り組む外国人観光客の受入環境整備への支援。Wi-Fi整備や多言語マップ作成等に対する助成	経済	P.70
農林水産	多様な担い手の確保	就農希望者を対象とした農作業等の基礎研修やインターンシップの実施等	農水	P.71
	★耕作放棄地活用促進事業	利活用可能な耕作放棄地の情報を公開し、就農希望者とのマッチングを促進。民間アイデアを活用した有効活用	農水	P.71
	農水産物のブランド化の推進	生産者の所得向上や市内産農水産物の消費拡大に向けた、6次産業化・ブランド化の推進。特産品の開発、販路拡大のためのPRを実施	農水	P.71
	ベジフルスタジアムのブランド化推進	アジアを視野に入れた青果物流拠点を目指し、品質管理の強化や市場の魅力発信、海外バイヤーとの商談会等を推進	農水	P.72
就労	★正社員就職支援事業	就労相談窓口の相談支援体制の充実を図り、正社員希望者の就職支援を強化	経済	P.72
目標7：創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している				
スタートアップ	国家戦略特区等を活用した創業環境の充実・支援	国家戦略特区における規制改革の活用や福岡市独自の施策による創業者への支援。スタートアップカフェ、スタートアップ支援施設の運営、スタートアップビザ等	経済	P.75
	スタートアップの推進	海外のスタートアップ拠点とのネットワーク構築、国内外イベントへの出展等。最先端技術を活用した実証実験に対するフィールド提供等の支援	総企 経済	P.75
創造産業振興	クリエイティブ関連産業の振興(ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン等)	今後も成長が見込まれるクリエイティブ関連産業の振興。イベント開催やインターンシップなど人材育成	経済	P.76
	アジアンパーティ(クリエイティブフェスタ、アジアフォーカス・福岡国際映画祭等)	「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」として、ビジネス機会の拡大を図るため、「アジアンパーティ」を開催	経済	P.77

施策	事業名	事業概要	局	頁
女性	女性活躍推進事業	女性が活躍できる環境づくりを促進するため、企業への支援や働く女性への支援等を実施。企業における取組みの見える化を推進。女性を対象としたスキルアップ講座の実施	市民	P.78
目標8：国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている				
都心	都心部のまちづくりの推進	都心部の機能強化と魅力づくりを推進するため、都心部における民間建築物等の更新期を捉え、民間活力を活かして計画的な機能更新を促進 H29n 旧大名小学校跡地事業者公募等	住都	P.82
	ウォーターフロント再整備の推進	「クルーズ」、「MICE」、「賑わい」が融合した一体的なまちづくり向け、官民が連携した再整備を推進	住都	P.82
	★都心周辺部駐車場の確保	都心部へのマイカー流入を抑制するため、都心周辺部駐車場の確保に向けた検討	道下	P.82
活力創造拠点	アイランドシティ整備事業	快適な居住環境の形成や、交通ネットワークなど都市基盤施設の整備を推進。住宅市街地総合整備事業、自動車専用道路アイランドシティ線の整備等	港湾 住都 道下	P.83
	九州大学学術研究都市構想の推進	九州大学学術研究都市推進機構と連携した企業・研究機関の誘致、伊都キャンパスの整備にあわせた周辺のまちづくり支援や道路・河川などの基盤整備	住都 道下	P.84
ゲートウェイ	空港機能の強化(福岡空港の滑走路増設、平行誘導路二重化の促進)	福岡空港の混雑解消や将来の航空需要に適切に対応するため、空港機能の強化に向けた取組みを国や県とともに推進 ・滑走路増設:H37.3月末 供用開始予定 ・平行誘導路二重化:H30n 完成予定	港湾	P.86
	福岡空港関連自動車専用道路の検討	福岡空港のアクセス強化と周辺交差点の混雑緩和を図るため、自動車専用道路の早期実現に向けた取組みを推進	住都	P.86
	アイランドシティ港湾機能強化	国際海上コンテナ取扱個数の増加やコンテナ船の大型化に対応した、国際競争力の高い港づくりを推進。コンテナターミナルの拡張・整備、航路・泊地の浚渫等	港湾	P.86
	中央ふ頭機能強化	クルーズ客船の寄港増加に対応したゲートウェイ機能の強化。岸壁の整備等	港湾	P.86
国際貢献	福岡市の「強み」を活かした国際貢献・ビジネス展開	福岡市の「住み良いまちづくり」を広くアジアに紹介し、アジアにおける都市問題解決に寄与することで、国際貢献・国際協力を推進。関係構築が進んだ地域におけるビジネス展開を推進	総務 環境 道下 水道	P.88

主な区事業

区事業は、区の地域特性や独自の課題等に応じて、区ごとに取り組むものです。

*プラン原案には、49の区事業を掲載していますが、この資料には、主なものを掲載しています。

区	事業名	事業概要	頁
東	★東区共創のまちづくり推進事業	地域の課題解決に向けて、地域と大学・企業の共創を推進。地域・大学・区役所を結ぶ連絡会議の開催、取組み事例の発信等	P.96
	東区スタイル地域包括ケアシステム推進事業	区を4つのブロックに分け、医療・介護・地域のネットワーク推進のための会議の開催、支援病院を中心とした在宅医療体制の充実を目指す取組みなど、様々な取組みを「東区スタイル」として実施	P.96
博多	博多ライトアップウォークの推進	博多部の魅力発信、回遊性の向上により地域活性化等を図るため、毎年秋に博多部の寺社やまちなみのライトアップを実施	P.102
	放置自転車対策事業	博多駅周辺や夜間に放置が多い中洲地区等について、自転車利用者への指導・啓発や放置自転車の撤去等の対策を強化	P.102
中央	★スマートフォンを活用したまちの魅力発見事業	地域と連携して、スマートフォンアプリを活用した区の魅力スポットを巡るコースを設定し、その周知のためのイベントを実施	P.106
	食と美容の安全・安心プロモーション事業	イベント・バザーなどにおける食中毒を予防するための関係者向け啓発活動、こども食堂における食中毒・食のアレルギー事故を防止するための啓発活動、美容に関する健康被害を防止するための啓発活動を実施	P.107
南	南区ため藏食ゼミ	食への不安を解消するため、食情報の基礎知識と安全確保の取組みを知る体験学習を組み合わせた「誰かに話したくなる」講座を開催	P.112
	大学と地域の縁むすび事業	南区内及び周辺部の大学・短大の特色ある専門分野や人材を区のまちづくりに生かす取組みを推進。大学と地域の連携・交流事業の促進等	P.113
城南	パパスクール城南	乳幼児を育てている父親や今後父親になる人を対象に、父親の子育てスキルの向上や、父親同士の交流を図るためのプログラムを実施	P.118
	大学のあるまちづくり	大学生の活力や大学の教育・研究機能を活かして、地域の活性化や課題解決を図り、魅力的なまちづくりを推進。大学との共働事業の推進等	P.119
早良	さわら魅力アップ事業	豊かな自然や歴史・文化、特産品等の地域資源を観光資源として磨き、区の魅力を高める取組みを推進。サザエさん通りを生かしたまちづくり、「さわらの秋」等	P.125
	室見川水系一斉清掃	自然環境の保全や自然とのふれあいを推進するため、市民やボランティアと共に、室見川水系の上流から下流までの一斉清掃を実施	P.125
西	西区市街化調整区域のまちづくり活動支援事業	市街化調整区域とその周辺の地域における人口の減少や高齢化、地域公共交通機関の確保などの課題に対する地域の取組みを支援	P.130
	大学と地域の連携・交流促進事業	大学の知識や多彩な人材を、地域の人材育成やまちづくりに活かすため、大学と地域の連携を促進。子ども向けの科学実験教室の実施等	P.130

【参考】策定スケジュール

